

金足農高・造園緑地科3年生

## 高齢者宅の樹木剪定

### 学んだ技能で奉仕活動

秋田市の金足農業高校（松） 仕活動を行った。

田聡校長、493人の造園 生徒たちがテーマを決めて 緑地科の3年生12人が13日、 調査や研究に取り組み「課題 地域の高齢者宅を訪れ、樹木 研究」の一環。地域の1人暮らしの高齢者宅を訪れ交流す の剪定や庭の草刈りなどの奉



低木を丸く刈り込む造園緑地科の生徒

るとともに、学んだ技能を生かす狙い。 学校近くに住む男性(17)宅を訪れ、造園緑地科の12人が樹木の剪定を行うグループ、草刈りを行うグループに分かれて作業した。

剪定グループの8人は電動刈り込み機やはさみを使用し、低木を中心に刈り込んだ。指導教員らから「少し離れて全体のバランスを見ながら刈ってみて」などとアドバイスを受けながら、庭木の表面をきれいに丸く仕上げた。

三村美咲さん(17)は「角が立たないように、はさみを小刻みに動かすことを心がけた」と話した。 草刈りを担当するグループは、教員から電動草刈り機の操作方法について説明を受け、目を保護するゴーグルを装着して作業を開始。慎重に機械を操作していた。

野球部員の沢木竜誠さん(18)は「部活動では地域の方に応援してもらったので、その恩返しができれば」と語った。

家主の男性は入院中で、市内で別に暮らす次女(47)が作業を見守った。次女は「父の家に来ると家事の手伝いで1日が終わってしまう、庭の手入れはなかなかできなかった。お盆を迎える前にきれいにしてもらえてうれしい」と述べた。

(大谷好恵)